

事業番号	05 01 03	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	後期高齢者医療給付事業費			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	健康福祉政策課国民健康保険室	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kenko-fukushi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実		実施期間	H20 ～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	高齢期における適切な医療を確保し、健康の保持と高齢者の福祉の増進を図る。											
現状（予算編成時）	県民の高齢期における適切な医療の確保を図るため、長野県後期高齢者医療広域連合（県内全市町村で構成）が行う後期高齢者医療制度の運営に要する経費について、所要額を負担し、制度の適切かつ円滑な運用を図っている。 なお、後期高齢者医療制度については、平成25年8月の社会保障制度改革国民会議報告書で、「現行制度を基本としながら、必要な改善を行っていくことが適当」とされた。											
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）			【左記の説明、根拠法令等】 高齢者の医療の確保に関する法律								
	県民との協働による実施：実施は困難											
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） 高齢期における適切な医療を確保し、健康の保持と福祉の増進を図る。											
	② 事業内容（単位：千円）											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29				
						（当初）	（決算）	（当初）				
	後期高齢者医療給付費県費負担金		負担金	後期高齢者医療広域連合が行う療養の給付等に要する費用の一部を負担（負担率：県1/12）		20,313,591	20,775,764	20,668,655				
	後期高齢者医療保険基盤安定事業負担金		負担金	低所得者や被用者保険の被扶養者であった者等の保険料軽減に要する費用の一部を負担（負担率：県3/4）		4,004,214	3,871,504	4,017,061				
	後期高齢者医療高額医療費負担金		負担金	後期高齢者医療広域連合が負担する高額医療費（レセプト1件当たり80万円を超える額）について、保険料で賄う部分に対して費用の一部を負担（負担率：県1/4）		1,120,479	1,168,749	1,241,266				
	後期高齢者医療財政安定化基金		交付金 貸付金 積立金	県・国・広域連合による基金積立に対する拠出等（拠出割合：県1/3） 基金から広域連合に見込み以上の保険料未納や給付増に対して資金を貸付・交付		329,653	328,581	1,319,478				
	後期高齢者医療審査会経費等		直接	後期高齢者医療の審査請求に係る審査を行う審査会の経費に対する負担等		1,549	539	1,431				
					合計	25,769,486	26,145,137	27,247,891				
事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	25,940,362	25,769,486	27,247,891				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-814,968	376,661								
		合計（A）	25,125,394	26,146,147	27,247,891							
	Aの財源	一般財源	24,895,706	25,926,379	26,034,815							
		県債										
		国庫支出金	107,967	106,402	106,402							
		その他	121,721	113,366	1,106,674							
	決算額（B）	25,119,186	26,145,137									
概算人件費	職員数（人）	2.00	2.00	2.00								
	概算人件費（C）	16,552	15,828	15,828								
	概算事業費（B（A）+C）	25,135,738	26,160,965	27,263,719								
目標に対する成果の状況	高齢期における適切な医療を確保できるよう、療養の給付等に要する費用の一部を負担し、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援することができた。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	高齢期における適切な医療を確保できるよう、療養の給付等に要する費用の一部を負担し、後期高齢者医療制度の安定的運営を支援していく。